



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～ クラブのテーマ ～

こころゆたかなロータリアン

～ 本年度会長方針 ～

原点に還って、奉仕を実践しよう。



ロータリーに
輝きを

2014-2015 RY 会長メッセージ

第1164回例会 2015年5月27日 No.1133号

■ 会長時間



会長 渡部 邦昭

こんにちは。暑くなってきましたと、会長任期の終了が近づいて参ります。先日、5月25日に、2014-2015年度在広・大竹ロータリークラブ新旧引継正副会長幹事会が広島サンプラザで行われました。当クラブからは、堀江正憲副会長、川中敬三次年度会長、武田龍雄次年度副会長、高野憲一郎次年度幹事、それと、小川嘉彦次年度ガバナーと私が出席しました。総勢100名あまりの出席で、「お疲れさま」と「がんばって下さい」の言葉をかわしてきました。私も、ようやく終着駅がみえてきたようで、ホッとしたところです。

さて、本日の卓話は、広島商工会議所会頭の深山英樹様に「広島創生に向けたこれからの取り組み」についてのお話をいただくことになっております。私も仕事でときどき、島根県浜田市、益田市の方にゆくことがありますが、市街地にも歯抜けのような更地が点在している地方が先細っていることを実感しております。私が思いますのに、地方に住んでいる方々が地方の人口減少や衰退ということに危機感を持っているのか、関心を持っているのか、深刻に思っているのか、について懸念しております。

4月12日統一地方選挙が行われましたが、投票率が50%内外の投票率で関心の低さを物語っています。5月17日には、大阪都構想の是非を問う住民投票が行われました。大阪都構想の政策の良し悪しは別として、約67%の投票率を上げたのは、橋下市長の大きな功績といえるでしょう。マザーテレサが言っておりますが、「愛の反対は憎しみではない。愛の反対は無関心である。」と述べています。ロータリーの目標として、世界の平和の推進、貧困撲滅がありますが、ロータリアン一人一人が、地域の問題や世界の平和を脅かしている問題について関心を持ち続けることが大切です。そして、ロータリーの奉仕活動に動いてゆくことです。

本日の卓話のテーマの趣旨であります「地方創生」についても、しっかり学び、関心を持ちたいと思います。ご静聴をお願いします。

本日の卓話のテーマの趣旨であります「地方創生」についても、しっかり学び、関心を持ちたいと思います。ご静聴をお願いします。

今回の例会(6月3日)		次回の例会(6月10日)
ゲスト卓話 (株)病理診断センター 代表取締役 (広島南RC) 井内 康輝 様		来賓卓話 広島商船高等専門学校 地域連携コーディネーター特命教授 長谷川 尚道 様
出席報告 (例会運営委員会)	来客者紹介 (親睦家族委員会)	幹事報告 (賀谷幹事)
5月27日(水)出席者 会員総数 55名 出席会員 41名 欠席会員 14名 ご来賓 1名 ご来客 3名 ゲスト 0名	5月27日(水)出席者 広島南RC 1名 広島北RC 1名 広島西RC 1名	■お知らせ ・ネパール大地震義捐金ですが、クラブで取りまとめることになっております。個人でやられる方はクラブを通して寄付をしていただければと思います。ただし、寄付金の期日は金曜日締め切りとなっております。期日は必ずお守り下さい。宜しくお願いします。

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】渡部 邦昭 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】賀谷 俊幸 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/

【FAX】082-221-4870

ゲスト卓話

広島創生に向けたこれからの取り組み

広島ガス(株) 代表取締役会長
(広島商工会議所会頭、広島ロータリークラブ)
深山 英樹 様



人口減少、少子高齢化の急速な進展に加えて、東京一極集中などにより、「地方の消滅」を危惧する声が上がるとともに、地方都市にとっても、若者や観光客や移住者などの“人財”を奪い合うという、生き残りをかけた大競争時代に突入しているといえます。

こうした状況のなか、「広島創生」を実現するためには、これまでの延長線上でない新たな取り組みが必要になるとともに、政府、地方自治体、経済界が緊密に連携を図り、十分な対話を重ねながら、地域全体が一体となって取り組みを進めていくことが必要だと考えています。

地方創生の基本的な考え方は、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を生み出し、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す、「まち・ひと・しごと」の創生と好循環を確立するというものです。

「しごとの創生」では、これから成長が期待できる観光産業と農業の強化が必要だと考えています。

観光産業を強化していくためには、外国人観光客の増加を図っていくことが必要であり、広域連携による新たな観光メニューの準備や受入体制など環境整備といった様々なサポートが求められます。

農業の強化については、まず、農業の6次産業化の推進とともに、IT技術、ビッグデータや再生可能エネルギーなどのさらなる活用が必要だと思います。

次に、「ひとの創生」では、抜本的な対策としては、出生率を高め、人口減少に歯止めを掛ける取り組みを継続的に実施していかなければなりません、効果が現れるまでには、一定の時間を要します。

こうしたなか、地域の活力を維持していくためには、県内外の学生に地元企業への就職促進や他県から地元の大学に進学してもらうなどの取り組みが重要な取り組みであります。

さらに、女性のさらなる活躍については、私が会長を務める「働く女性応援隊ひろしま」の活動を通じて、女性が活躍できる環境づくりを進めていきたいと考えています。

続いて、「まちの創生」では、人口構造に応じた「コンパクトシティ」を目指すとともに、中山間地域の活性化が必要であると考えています。加えて、広島の基幹道路である国号2号線の高架延長などの交通インフラ整備も引き続き、必要な取り組みであると考えています。

石破地方創生担当大臣と、先日、日本商工会議所の会合で懇談し、石破大臣からは、「自ら一生懸命努力する地方には、目一杯応援するという姿勢の表明とともに、今後、地方創生の取り組みがつまづくようなことがあれば、日本そのものが危なくなる」と強い思いを話しておられ、並々ならぬ覚悟と決意が伝わってきました。

今後、広島が、中四国地方の中心として発展し続けるためには、広島創生を何が何でも実現しなければなりません。そのためには、広島県や広島市をはじめとする行政、経済界が、連携してそれぞれの強みを活かしながらチャレンジし続けなければならないと考えています。

私自身も、広島商工会議所会頭として、経済界の先頭に立ち、湯崎県知事、松井市長とともに地元広島の創生に向け、全力を投入したいと考えています。

< 渡部会長 謝辞 >

深山様におかれましては、御多忙の中、卓話をいただきまして有難うございました。お話しを参考にしながら、広島経済および社会における「しごとの創生」、「ひとの創生」、「まちの創生」について更に考えてゆきたいと思っております。本日は有難うございました。



.....SMILE BOX

渡部邦昭 会員

深山様、本日の卓話よろしくお願ひします。

木本薫 会員

1週間ハワイでゴルフづけの生活をしてきました。賀谷幹事には通訳。運転そしてゴルフと大変お世話になりました。太田原君も同行しました。大変楽しい旅でした。また、近畿日本ツーリストの船場君にも大変お世話になりました。

鈴木大次郎 会員

今年は、ホテルが多数飛んでおります。昨日も30匹以上が飛んでおりました。PTAでも話題となり、見学者が多数来られています。事業の成功を祝って皆様のご出宝を宜しくお願い申し上げます。

当日計	55,000円	累計	1,152,000円
-----	---------	----	------------